

授業改善書

科目名	社会調査実習 I
担当者	田中道弘

授業の概要

社会調査での一般的な手順として、調査設計(先行研究の収集)、仮説と目的の設定(先行研究分析)、標本抽出(サンプリング)、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、分析(クロス集計を含む)、報告書の作成の順に講義を進めていく。この際、社会調査の企画・設定、およびデータの集計・分析を全員が体験し、報告書にまとめるスキルを培う。本年度は、大学生の選挙に対する意識調査を実施する。

授業の問題点

全体的には、高い評価であったものとする。ただし、一部、シラバスの進行と同じように進行できない回もあった。

授業改善の課題・方策

シラバスと授業進行の一致については、可能な限り改善したいと思うものの、教員と学生との共同作業で進行する実習授業の性質上、なかなか難しいところがある。また、授業の特性上、どうしても学生負担の大きい授業回があり、その点についての配慮は重要であるとする。

可能な限りシラバスの予定と一致させながら、授業を進めていきたい。

その他

学生の皆さん、高い評価をありがとうございました。励みになります。同時に、参加学生の皆さん、厳しい日程の中、レポートの提出など、本当によく頑張りました。この経験は、必ず卒業論文や、就職試験、社会人になった際に役立つものと信じています。特に、今回の調査の成果物は、就職試験の際にも使えるものとなったと思います。引き続き、社会調査実習 II でも、一緒に頑張りましょう。